

製品名: 猛禽類ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21248**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:149kD;Observed MW:149kD

抗原情報

遺伝子名	RPTOR
別名	KIAA1303 RAPTOR
遺伝子 ID	57521.0
SwissProt ID	Q8N122
免疫原	ヒトラプターの合成ペプチド

背景

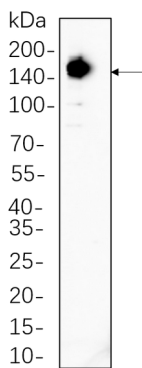
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、栄養素およびインスリンレベルに応じて細胞増殖を制御するシグナル伝達経路の構成要素をコードしている。コードされているタンパク質は、mTOR キナーゼと化学量論的複合体を形成し、真核生物開始因子 4E 結合タンパク質-1

およびリソソームタンパク質 S6 キナーゼとも会合する。このタンパク質は、下流のエフェクターであるリソソームタンパク質 S6 キナーゼを正に制御し、mTOR キナーゼを負に制御する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2009 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



HEK293 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Raptor ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。